

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会
 会長 戸井田 愛子
 〒221-0844
 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井修身

印刷 内村印刷株式会社

- 平成26年度事業報告並びに収支決算……………①
- 障害者権利条約 合理的配慮の考え方……………②
- 茅ヶ崎市の地区ボランティアセンター活動(茅ヶ崎市) ……③
- 真鶴町身体障害者福祉協会(真鶴町)……………③
- 第15回全国障害者スポーツ大会派遣選手決まる……………④
- 焼津への旅行によせて……………④
- さんぽみち(綾瀬市)……………⑤
- みんなの広場(聴覚部)……………⑤
- 喉頭ガンってどんな病気……………⑥
- 県身連事業予定(7月~10月)……………⑥
- 編集委員に就任して一言!……………⑥
- 編集室から……………⑥

平成二十六年事業報告・収支決算

県身連の平成二十六年事業報告と収支決算が、五月の理事会・評議員会で原案どおり全会一致で承認されました。

平成二十六年年度の各事業の実施にあたりましては、各地域団体との緊密な連携を図るとともに、県・市町村など関係機関の協力を得ながら着実な執行に努めました。

団体の自主事業としては、日本身体障害者福祉大会(島根県)や、関東ブロック協議会代表者会議(東京都・新潟県)への参加、日身連と連携し情報の収集や要望活動を行い情報の提供に努めました。また、神奈川県手話言語条例については、県聴覚障害者連盟と連携・協力して神奈川県に対して要望した結果、全国で二例目の成立に至ることができました。

県補助事業については、身体障害者福祉大会等を開催し、安心して生活できる福祉社会の実現に向けて、身体障害者相互の連携を深め着実な推進を図りました。

平成26年度神奈川県身体障害者連合会事業決算

No.	事業科目	決算額
1	管理費	543,938
2	人件費	1,440,000
3	会議費	229,367
4	負担金	165,000
5	雑費	45,684
6	管理諸費	669,600
7	地域団体組織強化費	66,189
8	広報活動費	1,086,538
9	身体障害者福祉推進活動費	44,060
10	部会活動費	1,170,000
11	日身連大会等参加費	405,184
12	相談事業費	35,191
13	体育振興費	286,679
14	福祉大会費	1,213,049
15	社会参加推進センター事業運営費	13,995,000
16	神奈川県障害者スポーツ振興事業費	31,660,000
17	音声機能障害者発声訓練事業費	1,495,000
18	県障害者スポーツ大会開催費	2,404,000
19	全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣費	7,200,000
20	県障害者スポーツ振興協議会事務委託費	3,700,000
21	全国スポーツ大会ソフトボール関東地区予選会開催費	1,500,000
	合計	69,354,479

受託事業の県障害者社会参加推進センター事業は、身体障害者・知的障害者・精神障害者の自立と社会参加に資する事業の拡充・推進に努めるとともに、スポーツ振興事業においては、全国障害者スポーツ大会の予選会を市町村・関係団体等の協力を得て開催し、

模原市選手団を派遣しました。また、売店運営については、当財団の貴重な財源確保を図るために引き続き効率的な運営に努め、当初の活動方針どおりの効果をあげることができました。

長崎県で開催された第十四回全国障害者スポーツ大会「長崎がんなばら大会」に県並びに相

障害者権利条約

合理的配慮の考え方

障害者権利条約とは

障害者の人権や基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進するため、障害者の権利の実現のための措置等を規定している国際条約。

主な内容

- ◇障害に基づくあらゆる差別（合理的配慮の否定を含む）の禁止
- ◇障害者が社会に参加し、包容されることを促進
- ◇条約の実施を監視する枠組みの設置 等

合理的配慮の基本的な考え方（一部紹介）

- 行政機関等及び事業者が、その事務・事業を行うに当たり、個々の場面において、障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、社会的障壁を除去するための必要かつ合理的な取組であり、その実施に伴う負担が過重でないもの。
- 障害の特性や具体的場面・状況に応じて異なり、多様かつ個別性が高く、代替措置の選択も含め、双方の建設的対話による相互理解を通じて、必要かつ合理的な範囲で、柔軟に対応がなされるもの。さらに、技術の進展、社会情勢の変化等に応じて内容が変わりうるもの。

各障害の困難や特徴における合理的配慮の事例（移動編）

【肢体不自由】

困難や特徴	合理的配慮の事例
(ア) 垂直移動が困難 (イ) 小さな溝や隙間の移動が困難 (ウ) 歩行が遅く立位はバランスを崩しやすい	(ア) 段差にスロープを付ける ・低床バスの運行を増やす (イ) 障害者専用駐車場を確保する ・障害者用のトイレを整備する (ウ) エスカレーターやエレベーターの設置 ・多めの休憩所を設ける

【視覚障害】

困難や特徴	合理的配慮の事例
(ア) 歩行ルートや沿道の施設の位置確認が困難 (イ) 歩道と車道の段差や路面の凹凸で転倒の危険 (ウ) 小さい文字が読めない	(ア) 点字ブロックを設置する (イ) 音声装置や誘導チャイムなど誘導設備を整備する (ウ) 点字や拡大文字、音声案内など案内設備を整備する

【聴覚障害】

困難や特徴	合理的配慮の事例
(ア) 電車・バス等の移動時、急なトラブルの情報が伝わらない。	(ア) 電光表示板など文字情報設備の整備をし情報を発信してもらう

【直腸障害】

困難や特徴	合理的配慮の事例
(ア) 排便や排尿のコントロールが困難	(ア) オストメイト用設備を備えた多機能トイレを整備する

茅ヶ崎市の地区

ボランティアセンター活動

茅ヶ崎市 おかた 岡田 ことむ 勉

茅ヶ崎市は「みんながつながるちがさきの地域福祉プラン」を進めています。みんながつながる地域福祉とは住民一人ひとりの努力(自助)身近な住民同士の自発的支え合い(互助)住民同士の相互扶助(共助)公的サービス(公助)が連携した仕組みを作り解決策を見出す考え方はです。それには地域住民、自治会、民児協、地区社協、ボランティア団体、商店・企業、福祉・介護事業者、市社協、及び市すべてが参加者でなければなりません。その活動の中の一つに地区ボランティアセンターがあります。市内十二地区社会福祉協議会のもとにそれぞれセンター事務所を設置して活動しています。センターは地区住民ボランティアのコーディネートで運営しています。

センターの役割は

- ① 地域住民のちよつとした困り事のお手伝いを同じ地区住民同士で支え合う活動の調整
- ② 何か活動したいが適当な活動が見つからないといった人へのつなぎ役
- ③ サロン運営など居場所づくり
- ④ ボランティアに関する研修、情報交換の場など地域住民の日常生活の中で行政や専門機関がカバーできない「すきまサービス」を行うことです。具体的には本人またはご家族が高齢・病気・障害・出産・育児等の理由で日常生活に支障があり、支援が必要なき、掃除、洗濯、日用品の買物、ゴミ出し、病院付添、話し相手、草取り、枝切り、簡単な修理などのお手伝いをします。また、高齢化、核家族化で独居高齢者が増えて家に引きこもりがち傾向がありますのでサロンやお食事会を開いてご近所同士、顔の見える関係を作ること、日頃は勿論災害時などの時、お互いが声を掛け合い助け合う関係作りもできます。地区ボランティアセンターの

役割は今後益々重要になります。今回の介護保険法改正により、支援一、二該当者への給付は国から地方自治体へ移管されます。茅ヶ崎市においても平成二十九年四月からは現在、国の介護保険で給付されている支援一、二該当者への給付サービスを市で行うことになりました。その際は、専門機関をはじめNPO法人や地区ボランティアセンター等が、給付サービスのの一部を補助するようになることは考えられます。地区ボランティアセンターに係る者として一層スキルアップを図る必要性を感じます。

真鶴町身体障害者福祉協会

真鶴町 はやし 林 ふみよ 文代

真鶴町身体障害者福祉協会の会長をして八年経ちました。これも会員の皆様のお力添えがあったからこそこのこと感謝しております。町は風光明媚な港町です。魚も美味です。山にはみかんとお茶畑もあります。暮らし良い環境なので、高齢者の多い町です。当町は人情の厚い人が多いのです。

障害者も気楽に過ごしております。町でも年一回老人会、幼稚園、保育園、知的障害者、身体障害者たちを呼んでくれます。ふれあい運動会をしてくれます。一日を楽しくしてくれます。皆さん楽しみにしています。真身会としては月二回町民センターにて、フライングディスクとカラオケの練習をして午後からは懇談会をしています。その甲斐あって県の大会があると真身会会員の皆さん良い成績をあげています。九月には下郡フライングディスク大会、十一月には下郡でカラオケ大会など秋には旅行、春には温泉を楽しんでいます。その時には、町の職員さん、社協の職員さんの協力があつてのこと。いつも感謝しています。会員の中にも参加するにも出られない人がいます。会としては、なるべく声掛けをしていますが出てくる人はいつも同じ人たちです。他の人達に声をかけているが、なかなか返事をいただけません。真身会も少ない会員で頑張っています。

第15回全国障害者スポーツ大会「2015紀の国わかやま大会」派遣選手決まる!

《神奈川県派遣選手》

《相模原市派遣選手》

○身体障害者個人競技選手

【陸上競技】 ・東海林 三四郎(大和市) ・吉田 輝(箱根町) ・鈴木 百萌子(厚木市) 【水泳競技】 ・森 一馬(開成町) ・青木 まゆか(大和市) 【STT】 ・水落 直美(厚木市)	【陸上競技】 ・大島 凜 ・堀口 一真 【卓球競技】 ・杉田 公男 ・清水 幸子 ・福島 美栄子 【FD競技】 ・上村 江佐雄 ・村山 武志	【水泳競技】 ・菅野 佳那栄
--	--	--------------------------

○知的障害者個人競技選手

【陸上競技】 ・岩澤 龍斗(葉山町) ・高張 絢斗(横須賀市) ・西岡 航(海老名市) ・石川 祐奈(座間市) 【水泳競技】 ・荒井 大(綾瀬市)	【卓球競技】 ・田中 雄大(茅ヶ崎市)	【陸上競技】 ・谷村 健登 ・菅野 怜央 ・根本 優太 ・永井 麻莉子 【水泳競技】 ・海老原 淳 ・佐藤 友愉 ・松井 拓也 ・奥野 天子
---	-------------------------------	---

○聴覚障害者バレーボール(女子)

・西村 玲奈 ・遠藤 麻衣 ・宇賀耶 早紀 ・國安 杏奈 ・蛇口 彩加 ・三平 薫 ・河村 優里奈 ・中村 その美

大会マスコット「きいちちゃん」



焼津への旅行にゆめを

海老名市 今福 秀雄

平成二十七年六月八日、九日に実施されました。この社会見学は、各種文化施設等の見学を通して見聞を広めるとともに、障害者団体の相互の交流親睦と連帯感を深め、社会参加意欲の高揚を図ることを目的とする。以上の事柄から、沢山の県内障害者団体からご参加をいただいたと思います。

先ず、三カ所のバス集合場所より焼津黒潮温泉に向け、新緑の中を走りはじめました。清水港から、クルーズ(オーシャンプリンセス号)の帆船に乗船、帆は張らないで湾内の遊覧でありました。湾内から外に出てほしかったとの声が多かった様に思いました。ゆったりと温泉に浸かり汗を流して、夕食の懇親会は、美味しい海の幸をいただき楽しいひと時を過ごしました。二日目の朝は、早めに焼津のホテルを出て、ディスカバリーパーク天文科学館・銀河の物語プラネタリウムを見学。そこは、計り知れない宇宙と富士山との星の世界、通常では見ることの出来ない見事な物で暗黒の星の世界に吸い込まれ

そうでした。こうして、一泊二日の社会見学旅行を無事に事故なく過ごせた事は、大変意義深いものでありました。今回の旅は参加者が少なく、バスの集合場所も三カ所に限られたので、次回は、各団体からの参加者が一人でも多くあつてほしいと感じたところです。何はともあれ楽しい旅行でした。ありがとうございました。

【クルージングの様子】



【天文科学館の建物】



さんぽみち

緑と文化の薫る

ふれあいのまち

綾瀬市 西川 和朗

緑と文化の薫るふれあいのまちと称する綾瀬市の緑の小旅行ガイドから、今回は「国指定史跡 神崎遺跡」を紹介します。

相模川の支流、目久尻川に面した綾瀬市吉岡に位置します。弥生時代後期(約千八百年前)の環濠集落(周囲に溝を巡らした村)、集落の平面形は南北百三三m、東西六十五m、面積約五千㎡の楕円形です。周囲の環濠は幅深さともに一・八m前後で断面はV字形をしています。現在は九軒の住居跡が確認されていますが、未調査部分

を考慮すると合計十五軒前後の住居跡があると考えられています。神崎遺跡から出土した土器は弥生時代後期の特徴をもち九十五%以上は東海地方(現在の愛知県東部から静岡県西部にかけて地域)の形態をしています。相模川流域の遺跡では東海地方の影響を受けた土器

が多く出土しています。遺跡はここだけです。しかも、土器の分析から遺跡周辺の土であることが確認されています。この地で製作されたことを示すことから東海地方から集団で二百km以上の距離を移住してきたと考えられます。また、竪穴住居の炉の位置も東海地方の特徴を示しています。このように国家成立前の時代に日本列島内を集団で移動した事実を示す遺跡として、国指定史跡になりました。



【遺跡全景(点線内)】



【土器(市役所)3F展示】

みんなの広場

聴覚障害者が安心して暮らせる社会を目指して

聴覚部 河原 雅浩

公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会(以下、「当協会」という。)は、横浜市、川崎市を除いた県域に居住している聴覚障害者の団体であり、手話及び聴覚障害者に関する理解の普及と聴覚障害者の権利の保障の推進を目的としています。

主な活動は、手話講習会講師の養成、教養講座の開催、レクリエーション、高齢聴覚障害者のためのミニデイサービス、聴覚障害者宅への訪問傾聴活動、聴覚障害児・生徒対象キャンプ、絵本の手話での読み聞かせ活動です。

ミニデイサービスは、地域で行われている一般のデイサービスに参加しても、手話でコミュニケーションが取れず、楽しめないために孤独な思いをしている高齢聴覚障害者が多くいることから始めたものです。スタッフは同じ聴覚障害者や手話のできる健聴者のヘルパーであり、参加者は皆、

手話で語り合い、楽しむことができます。最初は年間に数回でしたが、参加者からもっと開催してほしいとの声があり、また将来、本格的に事業化することを考えて、回数を少しずつ増やし、昨年度は六十回開催しました。

聴覚障害者宅への訪問傾聴活動は、さまざまな事情により地域で孤立している聴覚障害者のところを訪問し、手話で話し相手になる活動です。聴覚障害者は周囲に手話ができる人がいないことや聴覚障害者に対する理解不足から、地域や施設内で孤立している方が少なくありません。そういった方々のところを定期的に訪問し、手話で話し相手になっています。ほんの少しでも手話で話しをすると皆明るい表情になります。

この活動をさらに進め、県域のすべての聴覚障害者が安心して暮らせる社会を築いていきたいと考えています。



県身連事業予定

- <7月>**
- 5日(日) 県障害者スポーツ大会[水泳]
(さがみはらグリーンプール)
- 12日(日) 県障害者スポーツ大会[卓球・STT]
(寒川総合体育館)
- 16日(木) 身体障害者富士登山
(富士山5~7合目)
- 21日(火) 身障かながわ編集委員会
(県社会福祉会館)
- 24日(金) 関東ブロック相談委員研修会(静岡県)
- <8月>**
- 8日(土) 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会
(麻溝公園陸上競技場ほか)
- 9日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会
(県立体育センター)
- <9月>**
- 12日(土) 全国スポーツ大会神奈川県・相模原市選手団強化練習会
(麻溝公園陸上競技場)
肢体女性部野外活動(場所:未定)
- 未定**
- <10月>**
- 4日(日) 第60回県福祉大会(ハーモニーホール座間)
- 8日(木) 肢体部会役員会
(県社会福祉会館)
- 10日(土) 全国スポーツ大会神奈川県・相模原市選手団強化練習会
(麻溝公園陸上競技場ほか)
- 13日(火) 社会参加推進協議会
(県社会福祉会館)
- 24日(土) 肢体青年部野外活動
(横浜ワールドポーターズ)
- 24(土) 第15回全国障害者スポーツ大会
(和歌山県)
- ~26日(月)

※問い合わせ 電話 : 045-311-8736
045-311-8744
[推進センター]
FAX : 045-316-6860
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>

喉頭ガンってどんな病気

神奈川銀鈴会 会長 川崎 定宥

喉頭ガンについて、はたしてどれだけの人が知っていることでしょうか。胃ガン・肺ガン・大腸ガン等は皆さんがよく耳にする病気ですが、喉頭ガンはマイナーな部類に入ります。よね。でも喉頭全摘出手術をする声も失い、内では再発率も少ないです。むしろ他のガンの病気より怖いのです。この原稿が会報に掲載される頃に少し皆様方に認知されて

いる事でしょう。それは、音楽プロデューサーの「つんく♫」さんがこの病気になり「命」をとるか「声」をとるか究極の選択の中で「命」つまり生きる方を選んで歌手である「声」を失ったという事がテレビ、新聞、雑誌等のメディアで取りあげられ大センセーションを起したからです。神奈川銀鈴会もテレビ取材を受けました。今迄も「声」を職業としていて喉頭ガンと闘いながらも手術を拒否し残念ながら亡くなられた有名では、歌手の忌野清志郎さん、落語家の立川談志さん、少し古いところでは映画俳優の勝新太郎さん等がいました。どれが正しい選択かはそれぞれですが、「つんく♫」さんの勇気ある行動には私達同じ障害者で、今食道発声で頑張っている仲間にとつてありがたい事です。以前は喉頭摘出者が多かったのですが、最近医療の進歩著しく、放射線治療、抗ガン剤等で治る人も多くなりましたが、数年後再発した人も多少います。そうなる道当然年齢も高くなり、体力も衰え、手術も複雑になってくるので、益々食道発声も難しく時間も掛ります。しかし、私達神奈川銀鈴会はただ単に声が出て会話が出来れば良いだけではなく、食道発声がうまくいかない人は「EL(電気喉頭)」を使っても良いし、また、筆談でも良いのです。会に出席する事で同じ障害者同志としての悩み等の話し合いの場所になればと思っております。これからも温かく見守って下さい。

神奈川銀鈴会HP <http://www.sinreikai.sakura.ne.jp/kanagawa>

編集委員に就任して一言

楽しく、ためになる情報等お知らせ出来るよう努めますので、よろしくお願致します。
第1ブロック

鈴木 英雄 (横須賀市)

このたび編集委員になりました。先輩の足手纏いとならないよう頑張りたいと思います。

聴覚部

河原 雅浩

編集室から

会員の皆さん、お元気ですか！

今年の気象は、寒暖の差が激しくてテレビのニュースからは、竜巻・地震・台風等の話題ばかりで早い時期に来た事が頭に残り気がきではなかったと思います。これから夏に向かって健康に十分に気をつけて、家に閉じこもりがちで運動不足、暑いからといってクーラー室にいると体に良くありません。適度な運動と水分を十分に摂ることが大切です。健康は自分でもわからないので気をつけましょう。季節と共に頑張ってくださいませよう。

これからも編集委員として会員の皆さんと共に考えて行きたいと思えます。

編集委員 米山 昇 (伊勢原市)